

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
7,057人
世帯数
2,683世帯
平成20年9月現在

7月20日 第1回五常夏祭り 開催

7月20日(曜日)、五常小学校運動場にて五常校区コミュニティ協議会主催による、「第1回五常夏祭り」を行います。



子供みこしの様子

した「住民の交流と親睦を高め、幅広い福祉の増進により住み良い町づくりを進めること」をテーマに掲げ取り組んでまいりました。実行委員長の倉さんを中心に女性主体で実行委員会を立ち上げました。5月の総会で承認を経たからの準備となりましたので、実質約2ヶ月の間であわただしく準備を進めましたので、行き届かない点などあったかと思いますが、大きなトラブルも無く皆様の協力により、無事開催できましたことに感謝いたします。

まず祭りのオープニングには五常小学校PTAにご協力していただき、生徒たちによる子供みこしで始まりました。猛暑の中、ゴールの学校まで校区内をみこしで行進し、祭りの雰囲気盛り上げてくれました。午後4時30分の開会宣言の後、15の模擬店(軽食、



夏祭り会場の賑わいの様子

飲み物、くじ引き、ゲームなどは一斉に開店しました。また会場中央の演台では演武、カラオケ、大道芸、太鼓の演奏などを披露していただきました会場を盛り上げていただきました。午後6時から第2部が始まり御采賀のご紹介や、五常校区コミュニティ協議会野々村会長挨拶での開会式を行いました。模擬店では早くも売り切れの店もあり大盛況でした。演台では引き続きフラダンス、ソロライブ等披露していただ



模擬店の様子



模擬店の様子

き午後8時前から「お楽しみ福引」となり、皆様にはたくさんのお品をお持ち帰りいただきました。今回は第1回ということ、準備の段階から祭り当日お越しになる方の人数がまったく未知数でした。そういったことから各模擬店に準備する商品の数量にも大変頭を悩ませましたが、当日は予想以上の方にお越しいただき早々に完売し数量的には不足気味でした。また金銭の受け渡しについても、簡素化するため金

券での販売とさせていただきますが予想以上に売れ行きがよく、後からお越しになった方には何も無い状態でご迷惑をおかけいたしました。今回の反省点を踏まえ次回にはさらに充実したお祭りにできるよう準備したいと思っております。

最後にこの夏祭りが地域のお祭りとして定着していくためには皆様のご協力が必要です。次回についても地域の中で一人でも多くの方にご参加していただき大いに盛り上げましょう。

当日の様子(写真)を五常校区コミュニティ協議会ホームページの写真集からご覧になれます。

「夏祭り実行委員になって」

夏祭り実行委員に選ばれた私達は、何をどうしてよいかの戸惑いの中からのスタートでした。まずスタッフは全戸配布のチラシで募集することになりドキドキで初会合を持ちました。思ったよりたくさんの方が応募して下さい、皆さんの意見を聞きながら、模擬店やゲーム等のメニューを作りました。皆さんの活発で前向きな取り組みに力強さを感じ、がんばってやって行こう

と心新たに誓いました。一回三回と会合を持ちましたが、そのたびに斬新な意見をいただき、私達も買物や準備に気合が入りました。お祭り当日のうだるような暑さの中、会場設営や模擬店等の準備、本番と長い長い一日でしたが、快く集まってくれたスタッフの皆様へ感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

これからもよろしくお願い致します。
(五常夏祭り 実行委員長 倉洋子)



フラダンスと披露の様子

安心安全なまちづくり

五常校区自主防災会

日本列島は今地震の活動期

タイプの違う地震が、いつ・どこで起きてもお不思議ではない状態にあります。「二〇五〇年までには必ず南海地震が起きる。その前か直後に生駒断層帯が地震を起すかも知れない」のです。

枚方市の地域防災計画では

生駒断層系地震が起きると、地域の推定震度は5弱、6強、市域全体で死者数一〇一人、負傷者八、〇二六人と推定されています。

しかし、五常校区内では一人の犠牲者も出さない。当会の活動目標です。

五常校区自主防災会 では口頭から

「自分達の町は自分達で守る(共助)」「自分の身は自分で守る(自助)」「と言つ考えを持つことで地震災害による被害は大きく軽減できることを基本として、防災対策に取り組んでいます。尚、当校区では風水害に対しては都度対応というのが共通した認識です。以下、本年度の防災活動の概要を記し、皆様の積極的なご支援とご協力をお願い申し上げます。

活動計画 その一

「自治会単位での自主防災体制づくりへの支援」

緊急時に校区自主防災会が機能するかどうかは、被災者が属する自治会の防災組織の活動に係っているという思いから、両者は平時から連携し合って防災上の諸課題を検討しています。

既に、防災対策検討委員会を2回開催しています。この委員会は、全自治会長・管理組合長(二二人)とコミュニティ協議会全役員(一四人)で構成されています。

阪神大震災と中越沖地震での犠牲者の九〇%以上が壊れた建物による圧死であったことを教訓として、

「古い木造住宅の耐震診断・補強対策」「高齢者等災害弱者(要援護者)対策」に取り組んでいます。必ずしも順調に進捗していませんが、一つの現状です。やはり全住民皆様方の前向きなご理解と強いご協力なしには進みません。次に、いざと言つ時、被災者を救助するための備えとして、**防災倉庫を二基増設**することが決まっています(広報一三三号)。各地区の防災拠点として備蓄機材など充実させたいものです。

活動計画 その二

「防災訓練の開催」

枚方市大地震発生を想定した防災訓練であり、毎年三月に実施しています。

- 一五年度 避難訓練・総合防災訓練 (五常校区自主防災会結成式)
- 一六年度 避難訓練・防災講座
- 一七年度 避難訓練・防災講座
- 一八年度 避難訓練・防災フェスティバル(参加型防災ゲーム)

一九年度 避難訓練・防災フェスティバル(参加型防災ゲーム)

校区住民の防災意識の啓蒙・向上に資すると同時に災害時の初期動作を慌てず確実に遂行出来る技量と自信を持つようになつた方が増えているものと思えます。地域防災力の強化です。

平成二〇年度の防災訓練は、

二二年三月二五日 五常小運動場

避難誘導訓練・総合防災訓練

までは決定済です。(枚方市市民安全部危機管理室へ早期連絡の要あり)現在検討中ですが、起震車による地震体験、煙道体験、消防車による放水、消火器による消火訓練、梯子車実演、給水車(給水)、救急救護訓練(AED操作体験など)が挙がっています。

防災対策検討委員会開催予定

- 第三回 一〇月二六日(日) 五常小
- 第四回 一二月二日(日) 同右
- 第五回 二二年二月三日(日) 同右
- 第六回 三月二四日(日) 同右

校区住民の皆様には校区防災に関するご意見・ご要望などごじし自主防災会か上記の委員へお寄せ下さい。

(文責 事務局長山口楠夫)



平成一九年度の防災訓練

地域活動のご紹介

7丁目子供会では、三年前から夏休みの早朝、西公園にてラジオ体操を行なっているということで紹介させていただきます。今年からは七香クラブ(老人会)も加わり、子供たちと交流を深め健康維持にも役立つているそうです。

皆様の間でもこのような活動の情報などございましたら、紹介させていただきますので、五常校区コミュニティ協議会までご連絡お願いいたします。



ラジオ体操の様子

非戦の誓い

香里ヶ丘8丁目末広公園北側入り口付近に、非戦の碑が設置されました。この場所は旧陸軍の火薬製造工場「香里製造所」があった所で、同製造所で学徒動員として働いていた元女学生の215名の方々が63回目の終戦記念日である8月15日に設置したものです。石碑には「在りし軍国少女 非戦の誓い」と刻まれており、呼びかけ人の方は「過ちを繰り返さないためにも、私たちの戦争体験を後世の人に伝えていきたい」と話しておられました。



非戦の碑

変化する住環境

香里ヶ丘6丁目にある長年愛されたNTT社宅が撤去され、新しい住宅が生まれます。9月7日の説明会によりますと、施工者は共立建設(関西支店)にて解体工事を担当されます。解体工事期間は平成20年9月中旬～平成21年2月中旬(重機による建物解体については10月中旬ごろからの予定です)。施工者に対して参加者より(アスベス

ト・車両通行・通学路・防犯灯・警備員等)色々要望いたしました。工事期間中は特に安全対策について十分注意する様要望しております。整地後は一戸建て住宅が53世帯建設される予定です。(平成20年2月) 又、香里ヶ丘7丁目の大阪府警住宅も撤去され、住宅が生まれます。解体工事期間は平成20年10月中旬～平成20年12月末日。整地後に一戸建て住宅19世帯建設予定です。



位置図